

立命館大学文学部卒業論文題目

哲学専攻

ヌーヴェルヴァーグと実存主義
存在・価値・交換
平岩光太郎

——貨幣経済システムと人間存在の構造
石川 将来

エーリッヒ・フロムの「愛するということ」をも
とに本当の愛とは何かを考える
上原 萌

西田幾多郎のデカルト考からみる、現代のデカル
ト哲学像について
北村 謙

マルティン・ハイデッガーの考える本来的、非本
来的な存在様態について
酒井 望

デリダの「脱構築」
——プラトンとフッサールの形而上学への批判につい
て——
里中 宏哉

「異邦人」の可能性
アルベール・カミュの文学について
田中 宣行

デイヴィッド・チャーマーズに見る今後の心身論
の展望
津久井義夫

ユング心理学をもとに考える、関係性の回復への
プロセス
沼澤 峻介

他者と関係をつくるということ

——エマニュエル・レヴィナス『全体性と無限』より——
デカルトの情念論
文学作品とまなざし
三谷麻斗花
山田 桂子

河合隼雄の子ども論
シヤネルのモードと女性の変化について
水上絵里香
鷺岡 ゆき

ドゥルーズの *si-gne* 論
——『スピノザと表現の問題』及び『ニーチェと哲学』
における——
世古 和希

『情念論』における基本情念と特殊情念について
横山 智子

「自己」に関する考察
——J・サルとレヴィナスの哲学を踏まえて——
井波翔三郎

複製技術時代におけるエロティシズムの意義
超人からみたニーチェ像
市川 太郎

コリン・ウィルソンのアウトサイダーにおける考察
赤澤 那名

現象学における他者問題の考察
人は何故旅をするか
杉山 雄太

種の保存における倫理的考察
野口 由真

清基 秀彰

川井亜佳音

デカルトの情念論
組織と正義
寺本 臣吾
米倉 良

人間機械論における「死」の定義への考察
吉田 智也

古代ギリシア哲学者と現在
プラトンのエロス論
山本 知佳
五十嵐 晃

J・Pサルトルとポーヴォワール
自由への解放
奥西由美香

悲劇のニーチェ
デューイの教育論と現代学校教育
黒田 淳平

タレス
——ギリシア哲学の起源——
小西 正輝

理性がもたらした人類の不幸
——バタイユの思想より——
千代 崇寿

ニーチェとギリシア悲劇
——ギリシア悲劇の視座から——
野中慎一郎

ギリシアの哲学者ヘラクレイトス
——生成と流転の哲学——
八田 健嗣

シヨールペンハウアーの意志について
樋口 正太

西田幾多郎「場所的論理と宗教的世界観」におけ
る死の自覚と逆対応について
宮田 薫

アリストテレスの『政治学』について
迎 優之

C・G・ユングと元型論
ジェンダー／セクシュアリティ論から
村上 朋

——名乗られぬ性——
M・ブーバー『我と汝』関係性としての人格
田中 奈和

動物に対する道徳的配慮に関する考察
新澤 僚平
祖川 淳

J・S・ミル『自由論』における諸問題 井上 大輔
妊娠中絶の正当化条件についての考察 古市真弥美
太宰治のヒューマニズム

「罪の意識」と「他への奉仕」についての考察

心と身体をめぐる議論の考察 藤堂 玲央
森 茜

豊受大御神考 丹波王国、神宮外宮の信仰と豊受

大御神に関わる神々を鑑みて 岩崎伸一郎

ニコラウス・クザーヌスの思想と近世におけるそ

の影響 上野 恭平

フロイト「エディプスコンプレックス」における

諸問題と現代の性のあり方について 大橋 亮佑

エーリッヒ・フロムにおける『愛』の考察

間柄についての考察 柏木 梨佐

アダム・スミスの道徳哲学 加藤 綾華

―同感という人間本性― 亀井 聡子

正義について 阪田 恵

自我について

―G・H・ミードから考える― 坂元 彩香

現代日本文化考察

―ネット右翼から見るナショナリズム― 品田 善崇

ハローキティ現象

―自己表現手段としてのキャラクター― 平野 由芽

人間の自由意志および決定論についての考察

村上 成利

初期ベンヤミンにおける経験と言語の問題

―「媒質」の概念の構造と発展を中心に―

小林 永規

教育人間学専攻

トラウマを乗り越える

―V・E・フランクルからの考察― 荒木 佑美

西田幾多郎の意識論 大角 康

ベートーヴェンと交響曲 木下 瞳

言葉と沈黙 工藤 江莉

V・E・フランクルに学ぶ「生きる意味」

杉本 千春

死生観の探求

―エリザベス・キューブラー・ロスをめぐる―

谷口 陽子

人と関わりながら生きるということ 中岡 尚也

基本的信頼 渡邊 真央

―エリクソンを通して―

福沢諭吉『学問のすゝめ』を読む 森 悠美

キリスト教の教えに関する一考察 原田 知枝

「人間であること」の根源に立ち返る

―「宗教的情感」の観点から― 池口 歩

生きる意味のなさに関する教育人間学的考察

岩見 隆宏

生きるためのキャリア教育 大西 雄三

教育における「おかしさ」の意味

―イノベーションの可能性をめぐる― 岡本 育大

青年期の劣等感とその克服に関する考察 坂植 梨花

他者を意識する人間 田中 宗基

「死」と「生」に関する教育人間学的考察

永見 祐基

「かけがえのなさ」をどう生きるか 馬場 千尋

人生を豊かに生きるための笑い

―ユーモアを中心とした考察によつて― 益子 隼人

なぜ人はベットを飼うのか 山本 利樹

「歌」の力とは何か

―小泉文夫の民族音楽研究を手掛かりにして― 吉田亜里沙

ハイデガーにおける存在論的超越概念のもつ人間

学的可能性 李 舜志

欲望に関する一考察

―欲望模倣という概念を手掛かりに― 清水 芙美

身体と情報

―身体から拓く教育人間学的存在論の地平とその可

能性― 目加田祐麻

クラスに関わる教育病理についての考察 中塚紘一郎

青年期における「逃げ場所」の持つ意義 野口 雄輔

日本の青年と自己肯定感

―アメリカとの国際比較のなかで― 赤熊要史子

子ども一人ひとりの表現と評価を大切にしたい指導

の実際

―他者との相互性(集団学び)を生かした実践に関

する一考察― 大西 裕樹

生きやすいジェンダーの在り方

―自分らしく生きるために― 川田啓恵子

思春期の子どもの自己肯定感を高くむために

～教師として子どもたちができること～ 塚本 千佳

子どもの絵に価値を見いだすこと

～子どもの発達段階からの考察～ 原田 睦大

書道との出会いと自己形成

～学校教育における毛筆学習の可能性にふれて～ 藤本 仁美

思春期の不登校生徒と家族による支援

～親子の対話と自己形成～ 宮脇 理子

青年期と自分づくり

～青年期の発達課題を背景に、今後の課題や人生を考える 永波 卓朗

現代社会におけるシユタイナー教育の可能性

橋本 駿

共依存的関係と支援のあり方についての一考察

村田 茜

教育格差のもたらす影響と学習課題

～教育現場の取り組みに焦点を当てて～ 山本 晶子

看護職における青年期支援

～キャリアを越えたつながり～ 岩崎 祐子

ラマナ・マハリシにおける真我探究について

秋元 佑也

腰痛と心の関係性

有里 真美

〈学ぶ～教える〉関係の他者論的考察

安喰 勇平

日本人のスピリチュアリテイ

井内 沙樹

古流剣術から現代剣道へ

～人間形成への道～ 磯田 菜緒

幼児期の人間形成

～フレールに学ぶ幼児教育プラン～ 太田 優希

個性と教育

「伝える」ということ 角野晋太郎

～話し手の成長を目指して～ 武田 充代

パウロ・フレイレにおける〈平和教育〉論 田中 綾乃

自己を意識するということ 花谷 美和

感情と思考

～クリシユナムルテイの考察より～ 森 優子

老子・道教における幸福観

～「道法自然」「知足常楽」～ 張 之水

思考から気づきへ

～ヴィパッサナー瞑想の経験を通して～ 増田 友里

怒りの心理

～ここからからだの関係から 中村裕美子

自己への気付きの重要性

自傷行為 品田 沙織

～精神分析の視点から～ 柴田 愛佳

思春期における自殺と死生観との関連

人を愛すること 花岡 佐知

Aggression 表出パターンの変容に関する考察

～集団と超自我～ 原田友里愛

疎外感の考察

～太宰治の『人間失格』を手がかりに～ 藤元 早希

「音楽とは、呼吸だ！」の探求

存在しない(はずの)存在とのコミュニケーションについて 岩田 達仁

比嘉 友介

『農業少女』を通して出会う自分

家族の関わりからみる自分自身 飯坂美鶴妃

～苦難を乗り越える中で気づくそれぞれの思いやり、愛しかた～ 上原 志織

女性として生きる

～真のキレイを求めて～ 大保 美和

もう一つの幸福

ポジティブに生きる 河本 真季

愛着形成と人間関係

myself 高井 優

自分再教育

生きる。 田中美沙緒

エヴァンゲリオンの世界から見るアイデンティ

ティの確立 中村 光祐

～なぜ碇シンジは初号機に乗るのか～ 永野 健太

ステキな自分になるために

～私の可能性を上げる日々のあり方～ 福山 寛人

居続けること／居続けられること

～バスケットボールから学ぶ人生～ 古川 由佳

私の自己形成

～部活から学んだもの～ 穂苺 有希

就職活動を通して自分を見つめなおす

青年期の自己決定と自己理解 丸澤 華絵

「愛」本当の意味はわからないけど

～経験を力に変える～ 森本 真由

休場 彩乃

日本文学専攻

『万葉集』東歌の民謡性

栗野 貴士

芳年画「和漢百物語清姫」論
遊女、煩惱菩提の物語
〜地獄太夫・江口の君〜

内橋 薫

安部公房「棒」論
宮本輝「螢川」論

森 一真
山本 優子

萬葉集 田辺福麻呂の宮廷歌

幾野 浩樹

万葉集における色彩表現

静野 美皓

浮世絵における擬人化
都風俗化粧伝の構成について
国芳と西洋画受容

江口 祐香
金井 悠史
高橋 優

ガンバたちの「冒険」にみる「冒険者」論
〜斎藤惇夫「ガンバ」三部作から〜
「燃えよ剣」における沖田総司論
太宰治「饗応夫人」論

平田 純己
新井 麻由
江川 美帆

万葉集の月

野辺 翔平

―作者未詳歌を中心に―

『箱根靈験躰仇討』月岡芳年の初花と筆助
浄瑠璃における「蛇」のはたらき
町田康『きれぎれ』論

藤澤 遥
山下 夕貴
小池 洋平

三島由紀夫『春の雪』論
―松枝清顕の〈特異性〉―
坂口安吾「青鬼の禪を洗う女」論
―サチ子の求める「自由」と「鬼」―

沖川麻由子
小村 希望
下野 領大

答歌群より―

宮副 愛美

『古事記』ヤマトノヲロチ退治神話

山岸 雄太

―ヲロチの土着性に着目して―

江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」論
吉屋信子『わすれなぐさ』論
堀辰雄「美しい村」論
森鷗外「舞姫」について

村上 賢幸
佐藤 奈穂
一由 悠太

太宰治「鷗」から見る銃後という時代
芥川龍之介「河童」論
島崎藤村「破戒」論
伊藤野枝「転機」論

田所 慎平
能 桃子
野和田峻啓

大伴家持の贈答歌

吉武咲枝里

―一五〇七〜一五〇九番歌を中心に―

谷崎潤一郎『痴人の愛』論
久保田万太郎「末枯」論
石川啄木「我等の一団と彼」論
泉鏡花「夜行巡査」

井ノ口茉莉
植村 錬
太田 明良

三島由紀夫『真夏の死』論
―沈黙する朝子―
小島信夫「アメリカン・スクール」論
―「日本人」とアメリカ

橋本 沙織
長谷 翼

今昔物語集と芥川龍之介

吉田 遥香

―「羅生門」を起点として―

筒井康隆『時をかける少女』論
湯浅克衛「カンナニ」論
芥川龍之介「蜜柑」論
中原中也「帰郷」論

岡田 厚志
角井 貴乃
加納 祐樹

遠藤周作『わたしが・棄てた・女』論
山川方夫「頭上の海」論
山崎春生「蜺」論
山谷の表現史

日野 茜衣
宮下亜沙美
森 祐香里

『源氏物語』における玉鬘像

黒木賢太郎

―竹河巻を中心に―

梶井基次郎『闇の絵巻』論
谷崎潤一郎「金色の死」論
谷崎潤一郎「幫間」論
小川未明「眠い町」考

酒井 俊志
新見 惇平
西村 啓

志賀直哉著『城の崎にて』に描かれる死生観について
―都市の変容と表現する主体―

末森 忠彦

『源氏物語』における死

中川 佳保

「オノマトペ」考

中塚 心

源氏物語夕顔考

阪野沙也那

―夕顔の人物像について―

森鷗外「舞姫」論
芥川龍之介「舞踏会」論

鼻崎 美紀
濱岡 駿一
藤井 美紀

佐多稲子「キヤラメル工場から」論
〜時間・服装からの分析〜

伊奈真由実

『浜松中納言物語』の研究

三輪 英恵

浮世絵春画における表情の変化

赤井 佑子

仁木弾正芳年画の優美

糸井 希望

森鷗外「舞姫」論
芥川龍之介「舞踏会」論

眞砂 友香

金原 安里

複雑に交錯する立体構造の物語世界

— 横光利一「鳥」「高架線」「機械」「鞭」を中心に —

徳島県人年齢層ごとの阿波弁使用度・認識度

近藤 勇志

『国女歌舞妓絵詞』考

— おくに神格化の背景とその意味について —

谷口 誠治

京都方言における敬語の研究

五十嵐 輝

「姥ヶ火」についての考察

山本 恭平

夏目漱石「琴のそら音」論

中村 恵

鹿兒島方言の意志・推量表現について

加藤 真美

中国文学における「悪役」

亀井 陽介

— 非現実的な世界観が伝えるもの —

松岡 拓也

— 薩摩半島南部の方言を中心に —

田中 綾乃

中国文学における「悪役」

小竹由希子

中野重治「おどる男」論

宮沢賢治『よだかの星』論

京都方言における敬語の研究

中島 亨

楚辞の持つ歌舞的性質について

田島 緑

— 棋食場面に着目して —

松本 梨沙

外来語の基本語化について

中山 朝恵

『世説新語』及び『晋書』から見る王羲之の人物

布谷 達朗

中野重治『空想家とシナリオ』論

— 〈空想〉・〈歴史性〉・〈主体〉 —

若者言葉についての研究

村瀬 真衣

唐代伝奇小説『鶯鶯伝』の主題について

吉村 遼

— 〈詩〉と〈畫〉における河童像 —

内田百閒『冥途』論

— 遊郭における誓約と自傷 —

伊達 彩花

— 子規は漢学離れをしたのか —

新宅 麻衣

— 「件」を中心に —

新美南吉「ごん狐」論

教科書間の接続詞比較について

角田 早希

李賀の詩における世界観とその背景について

谷川 千鶴

大西巨人『神聖喜劇』論

林 興希

岐阜県中津川市加子母に伝わる袈裟と盛遠伝説

伊藤 晴日

中国における景教流行の理由と背景

辻 未央

田山花袋と京都

清水 潤

京都府宮津市成相寺の成相（身代わり）

観音伝承

現代中国の教育格差

稲垣美智子

『徒然草』の「京都」

— 第五十段を中心に —

— 観光と伝承の相互関係 —

今堀 優

— 喫茶の始まりと種類 —

大谷 誠

『徒然草』の「時間意識」

鍋谷 桜子

— 京都各地の七不思議を例に —

河野 芽衣

中国の音楽と日本の音楽の違いから見る音楽の在り方について

小嶋 悠介

『徒然草』における「心」

福田 宏美

松永久秀最期譚の生成背景

布施 諒子

中国の結婚事情

杉坂 麻衣

『徒然草』第三二段における「月」の描写について

丸吉加那子

八丈島民謡「太鼓節」考

森島 遼

中国産食品の安全問題

田中志織理

『徒然草』第六十九段の研究

矢野 翔二

立命館大学文学部卒業論文題目

三九

三九

- 日中ことわざ比較による中国人の行動理論
辻本真以美
- PISA学力調査から見た中国の教育実態
藤原 拓未
- 中国格安航空の就航と日本の空
— LCCが与える影響 —
堀田 恵
- 中国の一人っ子政策について
松本 賢司
- 『宝葫芦の秘密』に見る仕掛け
— 子供たちはなぜ物語に魅かれるのか — 松浦 綾乃
- 金庸武侠小说のヒロインと中国人の理想の女性像
中谷 恵
- 淫欲の開放
— 『肉蒲団』に描かれる女性たちの真実 —
中山 歩
- 中国人観光客と日本の地方活性化の展望
大久保琴江
- 中国サッカーの成長と将来性
中尾 侑貴
- 中国とレゲエ
本田 祥大
- 古い価値観と新しい価値観
— 張愛玲作品『傾城の恋』を通してみる上海 —
山口 真由
- 英米文学専攻
- Jane Austen, *Pride and Prejudice* の女性たちの
結婚観
上田加奈子
- 『十二夜』における求愛
秋田 若菜
- 『ガリバー旅行記』の巨人とケルト民話の巨人の
比較研究
東 謙吏
- Charles Dickens, *A Christmas Carol* 研究
— デイケンズの描くクリスマスとスクルージの改心 —
大畑 真美
- Changelings in Irish Folk Tales: Roles of the
Fairies
斧原 翠
- William Shakespeare, *Twelfth Night* の研究
— sub plot が与える main plot への影響について —
加藤 早紀
- Graham Greene, *The Quiet American* 研究
河島絵里子
- The Integration of Innocence and Experience in
William Blake's *Songs of Innocence and of
Experience*
蒲生 慶都
- William Shakespeare 『ヴェニスの商人』研究
木村 優里
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
— ルーシーの精神的成長に影響を与えた人物 —
木本 修平
- C. S. Lewis, *The Chronicles of Narnia* — *The
Lion, the Witch and the Wardrobe* の研究
— ナルニア国が伝えること —
窪田 綾乃
- William Shakespeare, *A Midsummer Night's
Dream* 研究
熊田原彩夏
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
— 登場人物たちに見る階級 —
近藤絵衣巳
- William Shakespeare, *Othello* 研究
— オセローはなぜ騙されたのか —
清水 美里
- The Remains of the Day* から考える「人生」と
「嘘」
中川 知美
- Beatrix Potter: *The Complete Tales* 研究
— 作品を通して伝えてきたこと —
伴 茜
- 『ライオンと魔女』研究
— ナルニアにおける宗教性と物語性 —
日榮 陽介
- Aesthetic Love of Homosexual Lovers: Oscar
Wilde's Idea of Homosexual Love and Art
三木 沙織
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
— 主人公の精神的成長と階級制度 —
村上菜扶子
- How Revived the Masterpiece *Undead*?
— A Comparative Study of *Pride and Prejudice* and
Zombies and Pride and Prejudice —
室井 講昌
- Graham Greene, "Under the Garden" 研究
— 少年時代と人生のあり方 —
吉田紗耶子
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
— ルーシーとジヨージを結びつけたもの —
横山 貴大
- Charlotte Brontë, *Jane Eyre* 研究
— フォニニズムとポストコロニアル批評 —
佐藤真美子
- "Evil in *The Lord of the Rings*"
E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
— ルーシーの精神的成長と Mr. Emerson —
高橋 和宏
- セオドア・ドライサー、『ミスター・キャリー』
研究
三野 菜摘
- 石崎 美佳

- George Orwell の *Nineteen Eighty-four* 研究
城ヶ辻陽太
- Cormac McCarthy *The Crossing* 研究
— Billy の行動と、その動機 — Benjamin Kritzer
- Toni Morrison の *The Bluest Eye* 研究
— 暴力の連鎖と解決 — 石田 愛理
- Gone With the Wind 研究
— Scarlett O'Hara とその女性 — 伊藤 陽
- Song of Solomon* 研究
— 空を飛ぶことの意味とシルクマンが飛んだ真意 — 井上 紗希
- William Butler Yeats の作品研究
— Home, Love, Life — 奥谷 朝子
- “*Rabbit-Proof Fence*” 研究
— ちや Molly 達は the Moore River Native Settlement から逃げたのか — 尾崎 泰志
- Pride and Prejudice* における結婚
— エリザベスが三組の結婚から学んだこと — 梶原 悠衣
- The picture of Dorian Gray* 研究
— 肖像画と Dorian との関係 — 金田 向平
- A Study of *Flowers for Algernon*
A Christmas Carol 研究
— スカルージに変化をもたらした事とは何か — 加納今日子
- Pearce, Philippa の *Tom's Midnight Garden* 研究
川田 咲
- 不思議の国と鏡の国におけるのアリスの成長
— 他者との関わりを通してアリスが見たもの —
- The Secret Garden* 研究
— コロリンの成長の意味 — 北村 千恵
- Emily Dickinson 研究
— 自然、愛、死 — 三瓶 綾乃
- “*The Bloody Chamber*” 研究
— 娘は本当に自由を手に入れたのか — 城内 志歩
- O・ヘンリーの作品を彩る犯罪者達
物語における変身についての考察
Mary Shelley の『フランケンシュタイン』研究
— 怪物はなぜ殺人鬼へと変貌していったか — 中山 瑞貴
- How's *Moving Castle* にみる「魔法」
— 物語に及ぼす魔法の効果 — 日塔 豊子
- Angela Carter の *The Magic Toyshop* 研究
— 大人になるとは — 沼口 明季
- Fearless Girls, Wise Women & Beloved Sisters*
研究
— 守るヒロインとその力 — 野村 真希
- 原 千香子
『ライオンと魔女』におけるナルニアと子どもたち
— ちの成長 — 藤原みなみ
- The Wonderful Wizard of Oz* に関する3種類の研究アプローチ
— 研究アプローチ — 松田 亜実
- Alice in Wonderland* 研究
— Wonderland とその世界 — 松本美香子
- メアリー・ノートンの『小人シリーズ』研究
溝渕すみれ
- Doris Pilkington の *Follow the Rabbit-Proof-Fence* 研究
— なぜ Molly は歩き続けることができたのか — 宮本 優
- James M Barrie の *Peter Pan* 研究
— なぜピーターは大人になりたがらないのか — 八和田美咲
- 『老人と海』を読む
— ヘミングウェイの望んだ「生」の世界 — 土屋 隆
- Ernest Hemingway *The Sun Also Rises*
— *The Sun Also Rises* に込められた意味 — 石原 未来
- Frankenstein; or the Modern Prometheus* における Monster について
— 稲坂 周
- Nathaniel Hawthorne の *The Scarlet Letter* について
— 大久保美希
- The Adventures of Huckleberry Finn* について
— ちや Huck は Jim をたすけたのか — 大橋 篤樹
- Henry James の *Daisy Miller* 研究
— Daisy の悲劇性について — 川向 愛
- Toni Morrison の *Beloved* 研究
— デンヴァーの示す新しい役割について — 北野 雅菜
- Willa Cather の *My Mortal Enemy* について
— 芸術とお金からみる Myra の人生 — 桑田 知奈
- Jane Eyre
— 環境と Jane の成長の関わりについて — 小西 彩

- John Steinbeck の Of Mice and Men における孤
独と悲劇的結末について 小松 謙祐
- The Analysis of Sir Arthur Conan Doyle's "The
Hound of the Baskervilles": Sherlock Holmes'
Incomplete Victory 木南 貴博
- The Sun Also Rises における Brett Ashley の内
なる孤独と不変性 齋藤 優
- Toni Morrison の The Bluest Eye について
—ペコラの失ったファンキネス— 世良 友誉
- The Bluest Eye 研究
—Pecola が自己崩壊した要因について— 高橋 香衣
- Individuals and Society in Mark Twain's The
Adventures of Huckleberry Finn 高宗 つつか
- Toni Morrison, Sula 研究
—主人公スーラの存在意義— 竹内 彩音
- Nathaniel Hawthorne, The Scarlet Letter 研究
—ヘスターの多様性について— 田中 早紀
- The Adventures of Huckleberry Finn における
Huck の精神的変化について 辻 勝哉
- The Catcher in the Rye における Holden の精神
的变化について 殿谷公仁士
- Sue Monk Kidd, The Secret Life of Bees 研究
—主人公 Lily が見つける「母」— 中野 里美
- F. Scott Key Fitzgerald の The Great Gatsby に
ついて 西川 景子
- “Great” にどのような意義があるのか—
Henry James の The Portrait of a Lady 研究 藤山 めい
- Sula
—スーラとネル、それぞれの自己探究の人生につい
て— 向笠 里緒
- Sula における Sula と Nel の生き方の相違
—ピース家とライト家の母親像や育て方を通して—
八木 里沙
- F. Scott Fitzgerald の The Great Gatsby について
—なぜ Gatsby の目的は達成されなかったのか—
渡邊 由佳
- Jane Eyre 研究
—Jane の精神的成長について— 和田 晴佳
- The Awakening における
—エドナにとっての海の存在— 岡本 香
- The Adventures of Huckleberry Finn について
—文明 vs 自然— 濱岡慎一郎
- 法助動詞 should と仮定法現在の関係性 池田 佳介
- 名詞転換動詞 上田真悠子
- 分析的使役動詞の意味的・機能的制約 桐山慎一郎
- Tough 構文派生の考察 石田 大将
- 否定極性項目を認可する環境の研究 板垣 雄
- 二重目的語構文と与格構文の与格交替に生じる法
則と意味の違いについて 河野 杏那
- There 構文の分析 木ノ下慎太郎
- There 構文における主語の性質 木村 玄
- Syntax における数量詞解釈の研究 小島 佑樹
- Differences between Ergative Verb and Middle
Verb 立花 絵梨
- 法助動詞の意味的比較 日夏めぐみ
- 能格動詞と中間動詞 藤井 大介
- Comparison of the generalization of the
interrogative sentences of English, German
and French 山口 真史
- 16世紀における Ophelia の受容 片岡つぐみ
- William Shakespeare の Twelfth Night における
音楽の役割 河野 圭佑
- Othello の材源研究
—Shakespeare は Cinthio をどう変えたか—
杉谷なる実
- A Study in Scarlet 研究
—Sherlock Holmes の人物像に関する考察— 田村 尚紀
- 日本史学専攻
日本律令国家形成論
—日・唐・羅の関係を中心として—
加藤 由久
- 古代王権と皇祖神の転換 豊田 遼平
- 日本古代における藤原氏の氏神信仰
—春日社を中心に— 中寫 悠太
- 日本古代年号制度の成立 中村 悠太
- 天武朝の対氏族政策について 前浜 準吾
- 桓武天皇と渡来系氏族に関する諸問題 森田 哲也
- 4～5世紀における韓日関係史 鄭 會憲
- 平氏政権の特質
—「六波羅幕府論」の検討を中心に— 江原 努

源義経に対する評価の変遷

～中世を中心に～

勝又 麻衣

近世の海上信仰と産土神

—一八、一九世紀初めにおける兵庫津廻船商人の信仰を素材に—

伊藤博文一行による憲法調査
—ちゃんとしていなかった調査団—

内藤 貴教

牧氏の存在形態

—鎌倉幕府成立期の貴族社会と武士社会—

小泉 慶太

十八世紀中後期の幕府財政と米価政策

石田 直人

岩倉使節団とビスマルクの出会い
—心を通わせた「大政治家」たち—

山内 幸穂

平安中期における政治体制の変容

～正月儀礼の分析を中心に～

小出 翔太

動物から考察する日本史近世の民衆

大杉沙智子

吉田松陰と顕彰活動
—昭和十五年・十六年の山口県萩市を中心に—

川寄真理子

弘誓寺譜脈系図の過信性

奈敷 光

近世における「宇宙観」

坂元 宏之

京都における被爆者運動と政党の関係について

川野竜太郎

日本における神前結婚式の受容と発展

細田明日香

—梵曆運動を中心に—

高柳 尚美

京都市同和地区実態調査の実態検証
—昭和25年から26年を中心に—

金 智紘

平安女流文学から見る女性観

—紫式部を中心に—

森岡 実枝

「一・会・桑」の再検討

中橋 一智

二・二六事件と陸軍

近藤 啓介

平安貴族社会における呪詛

—拡大の事情と背景—

安西 佑妃

—近世末期畿内・近国地域警衛の執行過程から—

岸和田旧市域だんじり祭りにとっての高度経済成長期

清水 正志

中世人の死者に対する観念に関する考察

—武家を中心に—

小川 静香

近世上州の伊香保における大屋と門屋の関係性を
争論から考察する。

—良妻賢母教育を中心に—

園 幸代

室町期祇園会と中世都市権力

—看聞日記を中心に—

川又 達生

近世東アジアネットワークにおける情報紐帯者と
容をめぐって

—日本教職員組合の結成とその社会的意義—

富山 仁貴

室町社会における「酒宴」

—武家との関係を中心に—

河本 祐太

—浅見綱斎・若林強斎を中心に—

宇垣・孔祥熙工作
—日中和平交渉の挫折とその原因—

野口 翔太

河原者の動向をめぐる社会背景

—武家との関係を中心に—

熊田 雪乃

—公園奏楽が果たした役割—

—広田外交崩壊への転換点—

本間 直也

中世の城

—御成・饗応を中心に—

田所 由一

現代の一般書籍における武士道

—宇垣一成を中心に—

山口 一樹

足利將軍家と御師職

—急進主義・漸進主義からの解放—

中村 翔

観光資源としての京都三方の山々

安芸国沼田庄市場と小早川氏との関係について

高橋 知子

中世社会と一揆

—急進主義・漸進主義からの解放—

丹羽 真章

吹奏楽の開放

—急進主義・漸進主義からの解放—

鈴木 亜衣

今川氏の家臣団形成と花蔵の乱

—急進主義・漸進主義からの解放—

保母 将幹

—急進主義・漸進主義からの解放—

—急進主義・漸進主義からの解放—

鈴木 亜衣

寄進状からみる中世勝尾寺

—急進主義・漸進主義からの解放—

松原 香梨

—急進主義・漸進主義からの解放—

—急進主義・漸進主義からの解放—

鈴木 亜衣

室町將軍と禪宗寺院の関係性

—急進主義・漸進主義からの解放—

八杉健太郎

—急進主義・漸進主義からの解放—

—急進主義・漸進主義からの解放—

鈴木 亜衣

中世の病と医療

—急進主義・漸進主義からの解放—

山田 隼佑

—急進主義・漸進主義からの解放—

—急進主義・漸進主義からの解放—

鈴木 亜衣

中世堅田御厨特権と適応範囲 内田 喬平
足利義満第における空間利用の比較研究

—北山殿・三条坊門殿・北小路室町殿を事例として—

久野 敬介

天文十六年度の遣明船派遣と警固体制 清水 智貴

伏見地震における豊臣秀吉政権の復興政策

—東寺・醍醐寺を中心に— 鈴木健太郎

後北条氏の関八州支配再考

—後北条氏における関東管領職の喪失の過程—

鈴木 雄大

鎌倉幕府の悪党認識について

高田 俊明

京郊圏における馬借の実態

谷崎 友紀

中世後期における勸進形態の転換

—東寺と清水寺の比較と考察— 面喜多美香

関東地方の水墨画発展について

—祥啓の上洛を中心に— 速水友香莉

今川氏一門瀬名氏にみる守護大名一門の独立志向

伴内 えみ

天文・永祿年間の三好長慶と統一政権

—前 波瑠香

南北朝期に於ける音楽と治国治民思想

久野 真嗣

英照皇太后における伝統と近代

—明治期日本のもう一人の「国母」— 小川 晃龍

ある士官学校卒業生の戦争と平和

井上 聖太

近現代における貸衣装業の展開

井上 美子

大連の実業団野球

—大正期を中心に— 上田 航平

桃太郎の近代

—理想の子供像はどのように変容したか— 村岡 未菜

戦後における京都市職員文学サークルの研究

森 亜紗子

湧き上がる「復興」意識

—改革気分と老骨内閣—

国際連盟の活動に見る日本外交

—石井菊次郎の行動とその理念—

パンパンをみていた人々

「現代邦楽」の原点としての宮城道雄

新約夢野久作

—社会派探偵小説の黎明—

縄文時代の埋葬遺構における装身具

近畿地方縄文晩期土器の調整技法

—二枚貝糸痕調整とケズリ調整の普及— 松崎 健太

縄文遺跡の立地の変化に伴う石器組成の変化について

有鉤短剣の文様

古墳時代の船の研究

—ゴホウラ製・イモガイ製の法量を中心に—

南海産貝輪の研究

単龍鳳環頭大刀・双龍鳳環頭大刀の編年

日本出土の垂飾付耳飾の研究

直弧文について

西部瀬戸内における分銅形土製品

後期円筒埴輪の研究

—山城地域を中心に—

蔵王権現の属性分析

—考古学的手法による仏像研究—

常夜燈を中心とした参宮街道沿いの石造物

大西 未央

12世紀日宋貿易期における貿易陶磁器の地域的傾向からの考察

—平安京と博多の比較検討を中心に— 緒方悠太郎

北部九州における造瓦技術

—百済系単弁軒丸瓦と竹状模骨丸瓦の関係—

平安京における建物遺構の研究

—掘立柱建物の諸要素の分析をもとに— 山田みのり

東洋史学専攻

熊谷 舞子

後世評価から見る、戦国時代の楽毅像

—小津 拓也

殷代後期甲骨片における貞人に関する一考察

—今村 太一

唐の女性の求められた在り方—主に墓誌から

—早瀬明日香

前秦苻堅政権における内部構造の変化

—小野 響

唐律との比較による漢律内の印制の特質について

—小林 加奈

司馬懿の政治的立場について

—周藤 理久

唐代における御史台と政治傾向との関連性

—高村 瞳

古代中国の殉葬習慣

—子どもの殉葬の意義について— 野津手 郁

鄭成功の評価について

—河邊 毅洋

中国における社会主義問題 またその利点に関する考察	林 雄太郎	漢文史料から見た清〓ジューンガル戦争 —雍正七年から十二年の軍事衝突について—	池田修太郎	明代学校教育考 —国子監・社学を中心に—	瀧 和哉
ベトナム陳朝における中国元朝の侵攻 —その結果と意義—	一之瀬麻弓	西夏と周辺諸国の交易関係	池田修太郎	—孫悟空像の変化について—	松本 卓朗
遼朝の儀礼について	稲田 行寛	高考におけるアフアーマティブ・アクションにつ いて	上地 亜季	『西遊記』の成立 —孫悟空像の変化について—	増田 真智
明末中国における新式火器の普及状況について	梅本 浩樹	—アメリカの大学入試との比較—	堀 玲奈	—古代中国の星辰信仰—	増田 真智
—主に遼東方面を中心に—	北端 一仁	メソポタミア神話	杉浦 加奈	—孫悟空像の変化について—	堀 玲奈
アヘン戦争について	小池 暁子	—新・旧約聖書にみるキリスト教への影響—	新美 大樹	—カエサルを中心に—	堀 玲奈
南宋後期の地方における水軍配備とその運用につ いて	杉森 雄平	金代女真人のシャーマニズム	野上 裕美	—アウグストゥスの権力掌握におけるネットワー クの形成—	堀 玲奈
—主に経済面から—	塚本 浩貴	エジプトにおける女性の社会進出過程とベール化 現象	山崎 蘭	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
清朝雍正帝期の八旗政策	山本 章史	梁啓超の女性論 —女子教育を中心に—	植木 麻衣	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
—主に経済面から—	吉川 諒	十三篇『孫子』の成立と思想	岡本 宰	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
王直を中心とした浙江沿海部における倭寇による 密貿易	大貫 靖典	唐朝における『晋書』編纂の史学思想 —とくに反乱者と反逆者の列伝を中心として—	河崎 理	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
竜場の大悟の位置づけについて	澤 誉大	古代鍼灸医療の歴史について	越川久仁彦	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
林彪事件について	柴田 富彦	狐妖伝承の伝播と変遷	笹倉健太郎	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
日本が与えた台湾への影響	谷本真梨奈	中国におけるコオロギ文化について —闘蟋を中心に—	鹿間 大貴	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
西太后の生涯	寺岡 亜紀	唐代女性の化粧 —白粉と紅を取り上げて—	島田未紀子	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
清朝における対宦官抑制策に関する一考察	西野 肇	植民地期台湾の鉄道と「台湾人」	神藤 匠	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
清朝末期の政局と総理各国事務衙門設立	村上 亮真	曇曜五窟と北魏文帝	善万 城名	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
日本統治時代の台湾における社会教育の実態	山本 歩美	—闘蟋を中心に—	鹿間 大貴	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
張作霖政権と対日外交	吉井 豪	—白粉と紅を取り上げて—	島田未紀子	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
清末のアヘン政策論議と官僚「林則徐」	植民地期台湾の鉄道と「台湾人」	—闘蟋を中心に—	鹿間 大貴	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
何香凝の生涯について	曇曜五窟と北魏文帝	—白粉と紅を取り上げて—	島田未紀子	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈
蔣経国	—闘蟋を中心に—	—白粉と紅を取り上げて—	島田未紀子	—共和政中期から末期における民主政成立について—	堀 玲奈

カタリ派の拡大と民衆

志満津友佑

スイス中立政策の歴史的起源

鳥井 祐希

改宗する中世初期アイルランド

永田 萌

キリスト教と土着文化の融合

林 千清

青から見る中世人の視覚論

林 千清

中世西欧における死生観の変化

松本 千明

死のモチーフとベスト流行について

松本 千明

イエズス会宣教師の「日本人」観

村山 菜保

フランシスコ・ザビエルを通して考える異文化コ

村山 菜保

ミュニケーション

岡本 真希

17-18世紀イギリスで生まれたジェンダー

岡本 真希

カロリング朝フランク王国における民衆教化政策

本田 恵梨

近世におけるおもちゃの歴史

高田 浩平

中世商人と教会

湯川 結

エリザベス朝人と惑星・世界観の広がり

湯川 結

星術の開花

河野 愛奈

中世盛期西ヨーロッパにおけるユダヤ人とキリス

河野 愛奈

ト教民衆の関係

河野 愛奈

14世紀と比較して

島 裕也

19世紀イギリスにおけるエドウィン・チャド

島 裕也

ウィックの衛生改革

田中 秀一

ルネサンス思想の中のコペルニクス宇宙論

田中 秀一

科学と魔術のはざま

中原 彩花

正統と異端の狭間としての神秘主義思想

中原 彩花

マイスター・エックハルトの探究

林沼 千春

12世紀宮廷社会における男女と恋愛文学・南仏文

南仏文

化の北方伝播におけるアリエノール・ダキテー

ダキテー

ヌの貢献

丸山 敬子

中世スペインにおける異文化共存

丸山 敬子

キリスト教とイスラーム教

丸山 敬子

帝国の定義と国際開発・援助との関係

丸山 敬子

第三帝国における政治と理念と現実

丸山 敬子

マスメディアと社会統合

丸山 敬子

市民社会の形成から大衆社会への移行を通じて

丸山 敬子

エドマンド・バークの思想とその歴史的意義

丸山 敬子

主権国家の変容と現代における死刑制度の意義

丸山 敬子

トラウマから考える世界平和への可能性

丸山 敬子

国民国家と映画

丸山 敬子

ヴァイマル共和制期の民主主義と権利の拡大

丸山 敬子

よる大衆化の考察

丸山 敬子

教育、メディアが民主主義からナチズムへの移行

丸山 敬子

に与えた諸影響

丸山 敬子

ナチスのメディアの利用とその影響

丸山 敬子

統一イタリアにみる共通性と多様性

丸山 敬子

福祉国家の転換と展望

丸山 敬子

これからのファッション業界と私達

丸山 敬子

人種差別と身体表現

丸山 敬子

マイケル・ジャクソンが訴えたかったこと

丸山 敬子

長谷川彩乃

長谷川彩乃

世紀末の芸術運動からみる芸術性と実用性

山本 紗希

EU人は生まれるか

山本 紗希

これまでのナショナリズムの崩壊について

山本 紗希

吉田祐未子

吉田祐未子

北問題・グローバル化社会においてチョコレート

伊熊 詩織

アメリカの医療保険制度が抱える問題点・レーガ

伊熊 詩織

ン・クリントン政権下での医療保険制度改革の

伊熊 詩織

挫折と課題

伊熊 詩織

20世紀アメリカの写真花嫁・戦争花嫁・日系女性

大黒 志帆

の経験から記憶へ

大黒 志帆

恋愛観から見る結婚式様式の変化・近代日本にお

大黒 志帆

ける西欧の影響

大黒 志帆

アメリカ・大リーグにおける人種の隔離と統合

大黒 志帆

プロ野球成立からジャッキー・ロビンソンまで

大黒 志帆

戦後のアフリカ系アメリカ人の経済的地位の変

大黒 志帆

化・シカゴのゲットーを中心に

大黒 志帆

自然・歴史の遺産・化・19-20世紀英国ナショ

大黒 志帆

ナル・トラス運動をめぐる考察

大黒 志帆

19-20世紀英国絵本文化における動物ファンタ

大黒 志帆

ジーの誕生・ビートルクス・ポターを中心に

大黒 志帆

19世紀末から20世紀初頭のイギリス人の植民地に

大黒 志帆

おける体験と「帝国意識」

大黒 志帆

堀口 武士

堀口 武士

20世紀初頭のアメリカ・アニメーションとウォール

トビーズニー 松本茉莉奈

ブルース・ミュージックの伝承と変化・黒人音楽

とアメリカ社会 齋藤 綾

地理学専攻

京都市中心部におけるヒートアイランド現象の特

性と形成要因 上田 康介

震災被害の経験に基づく減災意識と減災活動

―鳥取県日野町を事例として― 高橋 慎司

第3セクター化以降の北近畿タンゴ鉄道における

営業施策と地域振興 竹田 理沙

親水公園の来訪者が抱くイメージの相違

―岡山市西川緑道公園を事例として― 西尾 佳恵

斐伊川下流域における河川周辺住民の水害知覚

岡田 朋子

農業生産組織の新しい担い手としての営農組合に

関する研究 宮沢賢治と西域

―主に借地型営農組合に焦点をあてて富山県におけ

る事例を中心に― 久保 剛史

近年の百貨店再編の特徴

―近畿地区における立地と販売内容の考察― 岩室 宏幸

阪急電鉄による沿線開発の過程に関する考察

奈良駅周辺における宿泊施設の立地状況 田村 英和

京都府南部地域におけるコンビニエンスストアの

立地展開 増原 智彦

神戸のインナーシティをめぐる考察

―神戸市兵庫区・長田区を事例に― 荷稻ありさ

食肉加工企業における原料調達国際化に関する

考察

―大手4社の比較を中心に― 北 仁美

中心市街地の定住人口増加による商業構造の変容

について

―滋賀県彦根市を事例として― 藤本 祐資

「道の駅」の変遷と分類

―京都府を事例として― 外菌 友博

外国人旅行者の流入による労働者街の空間変容

―大阪・釜ヶ崎を事例として― 山川 智也

多文化共生とインナーシティの再生

―東京都新宿区大久保地区を事例にして― 山根 瞬

地方都市におけるマンション開発の動向

―宇都宮市を例に― 沼尾 周太

大型ショッピングセンターの立地が及ぼす影響に

関する考察 滋賀県南部を事例に―

中村 朱里

宮沢賢治と西域 渡辺 悠太

校歌にみられる景観像 奈良県内小学校校歌を例に

浦 知広

大学誘致による地域活性化の可否

―関西大学高槻ミューズキャンパスの事例― 齋藤 恒彦

奈良駅周辺における宿泊施設の立地状況 田村 英和

京都府南部地域におけるコンビニエンスストアの

立地展開 増原 智彦

立地展開 増原 智彦

立地展開 増原 智彦

地蔵盆を通じた地域コミュニティの維持と民俗文

化の継承

―京都市の都心・郊外・農村部を比較して―

京都市における道路交通事故に関する地理学的研究

柴原 敬太

初三郎式パノラマ地図におけるメインスポットの

特定 吉川 美雪

災害リスクと住宅開発時期がソーシャル・キャピ

タルに与える影響 青井 誠也

―京都府亀岡市内の4自治会の比較分析― 大石 太地

高齢者の主観的幸福感の地域的な要因 木田 菜月

洛西ニュータウンにおける高齢者の買い物環境

小山 美香

歴史的な通り景観の現状と評価

―京都市西陣地区を事例として― 菅原 真美

本流と支流関係に着目した河川ゴミと河川景観へ

の意識の考察 菅原 真美

―亀岡市篠町における保津川と鶴ノ川を対象に―

橘 里佳

しまなみ海道完全開通による島嶼部住民の生活変化

―大三島・伯方島・大島を事例として― 中矢 諒

感染症の流行パターンと地理的要因との関係

―新型インフルエンザ流行を事例として― 永田 彰平

郊外における保育園の利用行動とアクセス制約に

ついての考察 永田 彰平

―滋賀県草津市を事例に― 橋本真莉子

―滋賀県草津市を事例に― 橋本真莉子

子どもと親の防犯意識の差について

京都府長岡京市神足小学校区を事例として

廣谷 圭

京都市における外国人観光客の空間的行動と意識

松尾 陽平

単身高齢者の生活行動と地域との関わりの意味付け

大阪市の事例
宮地 美紀

山形県庄内地方における農業経営の実態と課題

農業組合法人庄内共同ファームを事例として
富樫 賢明

砂丘地農業の地域的展開

新潟市南浜地区を例として
浅野 尚美

長岡京市における近郊農業の変容に関する考察

粟生地区を中心に
片山公美子

京都市における和装産業の衰退に関する一考察

京友禅を中心に
岸上 優

京都府南部地域におけるルーラルツーリズムに関する研究

幼児向けにも掘り農園を例として
北村 実希

兵庫県加古川市における近郊農業の変容と持続に関する考察

野口町を事例として
高橋 成奈

京都市における公衆浴場の衰退に関する一考察

右京区を事例として
野田 大介

兵庫県南あわじ市における農業地域の変容

八木地区周辺の酪農を中心に
橋田 和樹

生駒宝山寺門前町の形成と変容に関する考察

古家 竜平

三重県津市における携帯電話販売店の立地展開

稲垣 文香

四国八十八ヶ所霊場における観光地化の現状と今後の展望

香川県さぬき市「上がり三カ寺」を事例として

恒石 真吾

地名と水害の関係および防災活動への活用の考察

京都府亀岡市を事例として
飯田 幸世

「さぬかけの路」についての観光的意義

岡 葉月

京阪奈丘陵開発地域における変化及びその影響について

京都府木津川市を中心に
城田 真奈

千里ニュータウン域内に存在する開発除外地域の考察

田中 直樹

伝統的地方都市の再開発施策と住民意識の変容

石川県小松市を事例として
東山 侑樹

京都盆地西部における古代山陽道の復原

長岡京・平安京期を中心に
村上 晴澄

大阪府におけるぶどう栽培の発展の歴史と現在の土地利用の様子

柏原市を事例として
森多 雄大

堺市における地場産業の変容

刃物産業を中心に
北村 訓大

岡山県におけるスポーツツーリズム発展の可能性

フアジャーノ岡山を事例として
生本 智美

行政域を越えた地域連携による観光客流動の広域化と観光振興の可能性

関門海峡沿岸部を事例として
岩村 教充

京都・円山公園における来訪者のイメージ分析

河本 梨早

滋賀県湖南地域における通勤・通学行動からみた都市構造の変化

守山市を事例として
久保田明伸

都市中心部におけるマンションの立地展開

名古屋市千種区を事例として
近藤 美名

駅ナカ開発による周辺商店街の変化

東京都J R立川駅を事例として
眞田 晃男

震災に弱い地域特性を持つ地区における減災組織の必要性

名古屋市中村区を例として
高橋 弘輝

都市縁辺地域における耕作放棄地の実態

滋賀県大津市真野佐川町を事例として
西家 正貴

再開発事業・地域活性化の考察

神戸市新長田地区を事例として
西山 隼人

伊豆縦貫自動車道の整備が地域にもたらす影響と展望

堀江 真人

京都市祇園エリアにおける屋外広告物の色彩からみた都市景観と街路特性

三木 千明

京都市における保育サービスと女性就業者

杉 聡子

居住形態に着目した東京都文京区における人口動態

馬場 隆輔

「バーチャル空間」と「実空間」における空間的記憶に関する研究

出籠 駿

鉄道駅「駅ナカ」における購買特性と空間構造分析

稲垣 五月

都市景観における屋外広告の影響

—京都市を事例として— 尾久土克己

京都市における小売商業機能の空間的構造変化

河野 修平

東京都市圏における未就学児童を持つ夫婦共働き

世帯のデイリー・リズム

—千葉縣市川市を事例として— 玉木 健之

地元産農産物消費に対する消費者意識に関する研究

—京都市を対象として— 福井 陽平

放置自転車の空間的立地について

—滋賀県南草津地域— 福田 圭介

高速道路整備による沿線地域への影響

—伊勢湾岸自動車道沿線地域を事例として— 古川 浩太

歴史的建造物の転用を主軸とした観光地の形成過程

—福岡県北九州市門司港レトロ地区を事例として— 村口 綾

学際プログラム

アルフォンス・ミュシャのパリ時代における作品

—について— 徳田奈緒子

中世ヨーロッパにおける装飾写本の制作と需要

—草垣 由紀

ガウディの建築と観光

—サグラダ・ファミリアと日本人観光客— 近藤 俊

ケルト写本装飾文字と文字文化に関する私的考察

—ロマネスク写本との比較から— 高濱 美香

「快樂の園」から見る異界の描写と意義

—早野裕美子

清貧と食欲のイコノロジー

—ジョット作アッシジとパドヴァの連作フレスコ画—
—を中心に— 原田 寛之

近代日本におけるラファエル前派受容

—ロセッティの芸術を中心に— 水須 詩織

絵画によって表現される物語・詩の世界

—ラファエル前派同盟の画家たちにおいて— 安元 尋美

17世紀フランドル地方の絵画における四大元素主題

—ヤン・ブリューゲルの寓意画を中心に— 小田真里奈

借用語の歴史に見る異文化受容

—日本語における曖昧表現の必要性— 赤坂 岳洋

視覚言語における心理的效果

—マンガにおけるオノマトペ— 一松 航平

ネーミングのブランド力

—和製外来語のありかた— 岡田 望

第二言語の習得について

—男ことば、女ことばの社会背景との関わり— 亀澤 達也

英語圏から見た日本語の性質・特徴

—京都における言語景観とその現状— 橋田麻里奈

JAMAICA'S ISLAND FEELING

—Roots and Culture— 杉本 雄臣

ブリュッセル絵画におけることわざのメッセージ

—日本マンガの隆盛— 鈴木 琴乃

—表現技法からみるマンガの魅力— 小林 恵子

カタカナ言葉が多用される理由について

—山内 真優

漫画のオノマトペに見る日英両語の比較対照

—日本における言語多様性と少数言語の保護政策に— 笠谷 祐太

—高コンテキスト文化における意思伝達— 原田万梨子

—コミュニケーションから考える日仏文化比較— 金西由香利

—「タバコ」身体論— 八木 彩子

—高群逸枝における生殖— 池田 茉衣

—シユルレアリスム絵画論— 佐堀 純

—「手」による経験と逸脱— 荒木 大

—パロディ再考二次創作における作家性をめぐって— 井戸真由美

—第二言語にとつての直説法— 北川 真衣

—長沼式日本語教授法が与えるもの— 中尾 知佳

—東山魁夷の風景画— 永井 はる

—同居する西洋と東洋— 石田 宗之

—僕の「ダーガー論」— 岩井紗世子

—生々しき世界— 金沢 萌美

—犬との共生— 従属から伴侶への変化— 加納真由香

—現代舞踊における「動」の効果— 栗山 万葉

—土方巽の作品に学ぶ—

—フリンジとの出会い方—

—京都で若手演劇人に出来ること—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

都市のモダニズム

— 阪神間における私鉄文化の形成 —

中上 泉

「わるいアート」論

— 現代美術に見る日本の「いま」 — 山枡 美波

彫刻という公共芸術ルネサンスにおける美の追求

とパトロネージ 櫻井 優希

仏教とキリスト教における異形像の比較

建築的自動車デザイン論 秋山裕紀子

西陣織のデザイン

大兼 康佑

— 鳥模様の変遷 —

岡本太郎的伝統論の考察 岡田 佐季

大正末期から昭和初期の日本公建築の造形意匠に

ついて 越智 文朗

仏教美術と地獄

日本における半跏思惟像の源流について 木原 佳之

ガンジス河の女神と水に棲む聖獸

塩谷 杏美

江戸城本丸御殿大奥の実態

中田 麻有

現代美術の現状とこれからのゆくえ

— 現代美術をめぐる確信と抵抗 — 開かれるという

— ゴスペル —

演 貴文

グリフィンからみる遊牧民の旅する文化について

古澤 理絵

貫名菘翁の書風と近代書道における評価

柳瀬 沙希

旧日本海軍水中音響兵器史

— 旧日本海軍における水中音響兵器の存在意義につ

いて —

渡邊 真人

日本陸軍の鉄道部隊

— 平時と戦時 —

蒲谷 麻衣

舞城王太郎『煙か土か食い物 Smoke, Soil, or

Sacrifices』における構造的暴力表現 品田 咲希

グローバル・ヒストリーを問う

— 17世紀の南スラウェシにおける事例 — 炭谷耕太郎

処女会及び女子青年団にみる女性の身体 椿谷 菜摘

「境界を越える者」と社会の掟…キプリングの児

童文学から自己同一性を探る 金 浪呈

アメリカのヒップホップのセールス推移、それが

もたらす影響 鴨川 健太

宝塚歌劇におけるレヴューの役割

— レヴューにみる「宝塚らしさ」とは — 菅野 友里

京都における鴨川の役割について 阿加井美里

日本におけるヘヴィメタルとヴィジュアル系の比較

マズルカ・ポロネーズから見られるシヨパンの民

族意識 植之原彩子

自己表現のヴェール

二宮 綾菜

宝塚歌劇の衣装から考察するスター階級制度と舞

台演出 畑中あゆみ

絵画に描かれた太陽と月

安藤沙由理

古代ローマ皇帝像をつくるもの

石木沙緒理

クロード・ドビュッシーの音楽観

— 象徴主義と世紀末芸術の美学 — 大神 令香

イタリア系移民についての考察

川谷友香理

時計技師ジョン・ハリソンとイギリス帝国の拡大

木下 千秋

震災の展示と啓発活動

— 阪神淡路大震災から東日本大震災へ — 白井 雄士

五〇

洋服が日本人に与える影響に関する一考察

洋装が日本人に与える影響に関する一考察 竹内 美香

スローフードについて

月と日本文化 平谷 苑美

19世紀フランス社会と風刺画

— 近代風刺画の父・ドミニエから読み解く — 藤村 妙美

ウォルト・ディズニーとディズニーマ作品の

メッセージ性について 山崎 優佳

ヴェルサイユ宮殿

— 狩猟小屋から宮殿へ — 吉田 梨紗

— 狩猟小屋から宮殿へ —

演者と仮面 吉田 梨紗

— イタリアの仮面劇コンメディア・デッラルテにお

ける一考察 — 濱中 恵

シンブル・デザインへの追究

— 北欧・スウェーデンを例にして — 池岡美菜都

フランス都市形成の変容 木口真理恵

花火 堀 弘実

— 日本の行事と信仰との関わり —

— 堀 弘実 —

国際プログラム

『絵本と教育』絵本は外国語教育の手段となり得

るか 梅田英里奈

生きることは死ぬことは「ユーキャン新語・流行

語大賞」から考える 中島 彩乃

愛郷心教育の実践についての考察

— 日本の地域言語政策の視点から — 原田 茜

音楽とことば

〜英語で歌う日本人アーティスト〜

増田 佑美

広告コピー・イメージ解析

三宅 幸代

第二言語習得理論から見る英語教育

反抗としてのスーツ
〜60年代イギリスの階級制度から見る「MODS」カ
ルチャー〜

村上 太一

〜音読指導を中心として〜

小川 実加

言葉とは何か

ファッション業界におけるジェンダー
〜ゲイデザインナーの存在〜

伊地知朋子

〜若者言葉にみられる言葉の意味の可能性〜

北尾 萌

ノンバーバルコミュニケーションの日米比較

日本の学生オーケストラの実態と社会的役割

前山 謡音

市民は社会を変えられるのか

児童文学の「ウサギ」にみる、イギリスの動物観
の変遷

片山 朋代

ライブニッツのモナド論

中村 瑞穂

〜自我が共同体に潜り込む際の緊張と緩和〜

チエコ民族とアイデンティティ
暴力としてのイタリア南部問題

石野 温佳

世界システム論的視点による日本とフィリピンバ

〜平和学的考察〜
ラグジュアリーブランドが示すフランスの階級社会
〜ルイ・ヴィトン、エルメスから視る19世紀のフラ
ンス社会〜

今西 修子

ナナ農園の関係

心理学専攻

岩下由里香

カンボジアにおけるジェンダーと人間の安全保障

現代大学生男女における瘦身願望とボディ・イ
メージ

勝岡 千晴

敬語

丸山真里奈

〜移り変わり行く表現

大学生のインターネット利用と時間的展望体験

坂田 泰邦

光源庵の窓と庭園に関する考察

吉田 有樹

ファンタジー文学の世界観

青木 貴義

〜タモラ・ピアス『女騎士アランナ』を題材にして〜

大学生の性格特性と睡眠との関連

中島 鉄矢

竹内好「近代とはなにか」論

藤元 瞳

〜魯迅文学論を手がかりにして〜

「目標が1つの問題場面」と「目標が複数の問題場
面」における社会的相互作用の比較とその検討

沖 まり絵

上埜 拓海

春日 彩花

〜インターネット依存と性格特性の関連について

情動的写真が高齢者のエピソード記憶に及ぼす影響
〜加齢に伴う情動調整の発達の観点から〜

釜屋 憲彦

大学生の文章理解に及ぼす読み方の効果

〜つぶやき読み・音読・黙読の比較〜

北本紗也佳

高齢者への学習療法による、自尊心と日々の感
情や考え方の変化の検証

発達障害児を持つ親の障害受容から親の会参加に
おける心理的過程について

西村 知紗

読者を意識した要約文作成による内容理解への効
果の検討

発達障害児を継続的に遂行することによる発達障
害児の日常行動に及ぼす影響

畑 絢衣

果の検討

おける心理的過程について

松永 梓

スポーツビジョンの違いについて

10分間学習を継続的に遂行することによる発達障
害児の日常行動に及ぼす影響

山田あゆみ

家庭場面における抑制行動の検討

発達障害児における算数文章題解決に関する縦断
的研究…部分…全体スキーマを考慮して

劉 爽朗

幼児をもつ母親の育児ストレスに対する省察と抑
うつとの関連

母親の情動表出スタイルが実験場面における幼児
の情動表出に及ぼす影響

横山 祐太

母親の情動表出に及ぼす影響

幼児における「心の理解」の指標としての嘘をつ
く行為と葛藤抑制能力との関連

大谷 理栄

自己情動と他者情動に関する表現の違い

〜幼児期における発達の变化に着目して〜

尾越 有加
藤戸 麻美

水島 彩

二人きょうだいにおける家庭内での呼称と性格特性との関連
三谷明日香

大学生における顔写真の選好性

大野 莉枝

―選好に関わる要因について―

佐々木大介

場所弁別課題における大学生と高齢者の脳血流量の違い

厨子由香理

崩壊からの立ち直りとの関連

竹岡 将始

大学生における進学動機が入学後の適応感に与える影響

田中 滋

大学生における評価懸念と自尊心を媒介変数としたシャイネスと養育態度の関連

成尾 望

大学生の夕食形態とコミュニケーション・スキル、ストレス、孤独感との関連性

松岡 伸子

先延ばし行動におけるその原因と無気力との関連

村上 巧

大学生における個人競技と団体競技の心理的競技能力の違い

和田 美咲

青年期の友人関係スタイルと自己肯定意識および適応感との関連

佐藤 弘基

青年期の異性との友人関係における山アラシ・ジレンマの分析

國頭 郁美

小劇場演劇制作者になるまで

飯塚 梓

―複線経路・等至性モデルによる分析―

性・集団生活の中での変化

教師の価値観がいじめへの関わりに及ぼす影響の考察
伊藤 紗織

―教師の語りをもとに―

大学生における親に対する親和性と動的家族画の描画特徴との関連

今井 美歩

適応指導教室と学生ボランティアによる不登校支援の有用性について

片山 優希

都会と田舎で比較的に見たストレス値とその要因

加藤 千沙

累犯障害者の心理状態と司法機関の対応の差異

―クレプトマニア患者のインタビューから―

更生保護の立場からみた非行少年とその家庭への関わり方の研究

川辺 拓也

―保護司の語りを通して―

ひとり親世帯に属する女性の家族関係についての事例研究

沼田 昌美

―第二反抗期の欠損と離婚問題に着目して―

大学生の友人関係における状況に応じた切替

増田 統子

―変化理由と変化意識に着目して―

部活動における人間関係と生徒の心理的発達過程の考察

松澤あずみ

青年期における家族関係満足感と精神的健康との関連

松村 慎哉

―動的家族画をもとに―

母子における子育てスタイルの世代間連鎖

水嶋 有紀

―被養育経験に対する認知の側面から―

大学生生活におけるサークル活動参加の有無と対人関係の関連性について

―大学での居場所感と友人関係の観点から―

大学生における友人への自己開示と信頼感および適応感の関連

花坂 達樹

―CMC上の友人関係に着目して―

女子中学生が友人を通して認識する自己について

牛尾 恵

―半構造化面接を用いて―

不本意入学者が大学に適応するまでの心理的過程

斧原 藍

―大学生活についての語りを通して―

きょうだいの葛藤とその意味づけ

川上 敏弘

―ふたりきょうだいの次子の語りを通して―

発達障害者支援従事者のメンタルヘル스에影響を与える要因

川瀬 葉月

―非正規雇用として働く未婚女性の語りから―

恋人との結婚に関する将来への展望

坂本 沙織

―母親の語りを通して―

帯同赴任から単身赴任を選択するまでのプロセス

白杉 若菜

音楽聴取時の音強が感情価に与える影響の検討

富岡 沙紀

高級ブランド依存傾向に対する女子大学生と中期女性の心理的要因の違い

西村 仁志

大学生の恋愛関係における異性選択

野村 真菜

原田竜之介

原田竜之介

原田竜之介

原田竜之介

親子での積極的な音楽活動が子どもの成長に与える影響

—未就学児の保護者の音楽活動を取り入れた養育方法に着目して—

福崎 真子

代価支払い行動におけるお釣りに計算の研究

戎屋 隆行

通信制高校のマイクログラフイー

神崎 真実

Situational Similarity and Personality Predict

Behavioral Consistency in Japan 熊谷早希子

地震予知流言の社会心理学的メカニズム 白石 理佐

しまなみ海道完成における近隣島民のコミュニティ

変容 ティ 高玉 翔吾

公共交通機関内における着座行動の有無を決定するプロセスに関する質的研究 複雑経路・等至

性モデル (TEM) を用いて 福嶋 辰馬

若年女性喫煙者の喫煙動機に関して 榎峯久美子

会話分析からみる「萌え」現象と場の構築

松原 実香

大学生におけるデート行動に関する文化心理学研究

—インタビューと質問紙を用いて— 谷本 愛

大学生の集団における、集団の実体性と責任の知

覚の関連 井上 雄太

ネガティブな感情における心理的免疫システムの働き

原田 真奈

日本人特有の潜在的高自尊心と顕在的低自尊心について

八十島正光

感情表出における意思判断の決定への影響

上嶋 崇夫

場面想定法による、大学生におけるセルフ・ハン

ディキャッピングの調査 岡本 祐樹

失恋ストレスコーピングの恋愛型の関連性

加藤 千晴

透明性錯覚と自尊心との関係性についての検証

齋川 朋子

援助行動の実体と意味づけがもたらす、援助者の

否定的感情回復効果について 塩尻 安紀

スマートフォンの使用による孤独感の減少

辰巳 雄大

開示者に被開示者の受容または拒絶が及ぼす心的

影響について 森本 典子

異なる状況における自己呈示スタイルの変化

大和 由佳

日中学生の心理時距離と共感的羞恥対比

葛 綺文

「北海道人」の文化的自己観

—認知的不協和理論を用いた検討— 前坂あずさ

音楽と散歩行動の関係性 尾崎 良規

空間表象様式と認知地図の正確性との関係について

—Route Perspective と Survey Perspective の検討— 野村 謙太

学習塾への通塾動機と高校生のパーソナリティ発

達の関連 前田 知世

観光パンフレット写真の評価…美しさ・旅行誘因

性・魅力性の検討 和田悠華子

共同観賞者の存在が「面白さ」の感じ方に及ぼす

効果 釜元 翔子

大学生の恋愛関係崩壊時の対処行動と感情および

関係崩壊後の行動的反応 経堂 雄基

大学生における学習動機と将来目標の関係

下嶋 杏実

個人特性と虚言行動との関連性

長浦 涉

青年期における対人関係が他者操作に及ぼす影響

久利 祥真

音楽聴取による否定的気分への影響

代次 志帆

ヒトにおける遠隔履歴効果の検証

青木 秀行

ギャンブルに対する大学生の意識に関する研究

泉並 良宜

嘘の漏洩と非言語的手掛かり

内田 萌美

飲食店アルバイトの感情労働の変動に日々の出来

事が及ぼす影響 江上 幸祐

援助者の自尊感情と援助意識・行動の関係について

小林 祐太

ハト集団における社会的優位性の変動の観察

潮見 都

不確実選択肢の選好に影響を与える要因の検討

塚本 華澄

状況と目標に着目して 価値に対する目標行動の維持におけるSNSの効果

—ビデオモデリングによる「できること」の自己評価指導— 金田真奈実 辻岡 誠也

学生生活の質が与える自己受容度の年齢的変容

吹田 憲昭

「買っちゃうキミってオシャンティー」…ポジティブな掲示による万引き行為の軽減

池田 葵

望月ゼミの活性化について

市川 優奈

多元スケジュールのもとでのスケジュールパフォーマンスの獲得における自己ルールの共有の効果

尾西 洋平

障害者間での学びを促す支援の検討

京近 高志

—長期的な就労を共に経験した集団を対象に—

竹中 悠

硬式テニスにおける行動的コーチング

武本 広夢

電動書架の利用終了時の消灯促進

都竹 泰生

市営体育館におけるペットボトルキャップの回収率の向上

平野亜沙美

開示者の自己開示を促進する聞き手のあり方に関する研究

堀居 由麻

通常学級において目標設定とフィードバック及び相互依存型集団随伴性が着席行動に及ぼす効果

森 大典

障害者就労実習利用者のゴルフ場のボール拭き作業場面におけるセルフコントロール獲得のための報告行動の効果

吉村 紳

予備校における高校生を対象とした学習時間拡大への取り組み

丸口 耕平

DRMパラダイムを用いた虚再認の生起に関わる遅延の効果

グレイプフルーツのにおいによる環境的文脈が再生に及ぼす影響

山本加奈子

意思決定における後悔感情が言語確率に与える影響

中野 健司

大学生のアイデンティティ形成と自伝的記憶…一人称の使用を巡って

大前 大地

単語の感情価と視覚心像性が単語記憶に及ぼす影響

金輪 哲政

社会的比較と主観的価値判断および情動性

北出 智樹

文記憶における心的イメージの視点の影響

中島 雅和

—一人称と三人称の比較—

印象が表情に及ぼす影響における性差

中村 委代

目に関する処理が悲しみ表情の認知に及ぼす影響

堀内 遥

偶発記憶に及ぼす自己選択効果と意味的関連性の影響

吉田 史明

配色を見ることが伴い色彩感情は自動的に喚起するか

石垣 良

閩下での血液型ステレオタイプ活性化が人物情報処理に及ぼす影響と血液型信念との関連

伊藤 梨沙

髪色が及ぼす心理的影響

臼井ちさと

顔の角度が表情認知ならびに印象評定に及ぼす影響

岡本佑希子

—性格特性による影響も踏まえて—

大学生における過剰適応傾向と抑うつ、敵意の関連性—日本的な適応様式の病理的側面を考える—

風間 惇希

五四

自己形成的活動に対する認知とアイデンティティの関連性

金子 紗知

—大学生における発達の観点から—

喜び表情における顔のパーツの重要性

川口 聖世

四人のジレンマゲームにおける協力者・非協力者の顔の再認

杉森 千紗

表情とメイクパタンの変化が印象評価に及ぼす影響

仲島 裕子

携帯電話のページ分割と画面スクロールの違いが長文読解に与える影響について

南 翔伍

色の透明視における配色の効果について

天久あずさ

指なぞりが渦巻き錯視の見えに及ぼす影響

—自己受容感覚—視覚間の感覚統合—

井上 拓人

「踊るハート」における青色の効果について

梶谷 成代

VRにおけるバイノーラル録音技術の有用性の心理学的検討

古家 一真

色立体視における重心説の検討

田村 静香

さかさま顔の過大視・過小視における顔の太め・細めの効果

土藏 久代

犬の顔の知覚に関する研究

中園 陽子

配色の変化による室内の印象評価

西浦 裕人

二色配色における印象評定の日台比較

張 瓊之

自尊感情と勇気と楽観主義との関連性

馬越 秋美

購買場面において提示される情報が選好に与える影響

泉 里沙

メタ認知的知識がフレーミング効果に及ぼす影響

今井 千裕

行為性と人物特性が道徳性判断に与える影響

梶原 渉

メッセージの脅威と発信者の好意度が説得への抵抗に及ぼす効果

桐山あゆ菜

ゼロリスク効果に及ぼす比較過程とフレーミングの影響

小阪 祐奈

初対面時における会話促進が印象形成に及ぼす影響

SAVEDRA RIVANO RAJIV

接近・回避行動による潜在的態度の変容とその要因の検討

三寶 洋

心配に関するメタ認知的信念と失敗傾向の関連性

高橋 美和

非言語的課題の意図学習におけるBGM文脈依存効果

野口 竜矢

音楽を用いた気分誘導法における要求特性

橋本 麻美

コントロールの錯誤に対する親近性の影響

広地諒多郎

創造的問題解決におけるメタ認知的処理と例の呈示の効果

松山 亮太

手続き的説明文のマンガ表現が理解と遂行に及ぼす効果

池 幸洋

学習性無力感を抱いた機械音痴に対する学習支援

一本木浩了

—課題分割プランの利用—

基点提示の違いが道順説明のための地図描画に及ぼす効果の検証

—中学国語科「話す・聞く」領域から— 小倉 朋子

中学生による歴史教科書の読解における挿入質問の効果

小島 淳一

スポーツ推薦入試で入学した大学生の文章生成における階層的概念地図作成の効果

長島 可奈

見出しと本文の関連性が大学生の新聞理解に及ぼす影響

奈佐 俊

数学不安を抱く大学生への教示による学習支援

野村 亮太

大学生における英単語正誤判断に空書が及ぼす影響

増井 薫平

自己説明において目的を持つことが理解に及ぼす効果

山田 奈央

中国人中学生の学習意欲と学習充実感をいかに向上させるか

—映画を用いた英語リスニングの学習支援を題材に—

康 海濤

外国人留学生による運転教本の理解を促すキーワードの強調

狄 肇

文章の聞き取りにノートテイキングはどのような影響をおよぼすか

蘇 慧

発達障害児をもつ母親の心理的過程

—半構造化面接による検討— 三室 兼太

教師の悩みとソーシャルサポート

—小・中学校教師の語りから— 岩田 直子

家族の生活習慣病罹患体験がもたらす影響—健康不安とストレスの側面から—

上塚 達也

女子大生の摂食障害傾向と母子関係

—現実の母親像と理想の母親像との比較から— 大石麻紀子

現代の青年期における居場所感と生きがい感との関連性

香山真里奈

小学生・中学生の不登校傾向の比較・検討と両親への愛着との関連

—父親・母親への愛着との関連に注目して— 中川丈太郎

大学生における自己意識傾向と自己受容度、および両親の養育態度との関連

永田 智弥

嫌悪要因と対人ストレスコーピングの関連について

—自己と対人への嫌悪感情に着目して— 南部菜都実

レジリエンスを導く要因の検討

—ソーシャルサポート・性格特性との関連より— 半田 千賀

大学生における自己受容と生きがい感

—熱中している事柄の有無に注目して— 二上 佳奈

現代の大学生における友人への要求感情と対人ストレスコーピングの関連性

松坂 沙紀

大学進学時の母—娘間コミュニケーションにおけるアイデンティティ達成度と「よい子」傾向の検討

宮脇 麻希

小学生の社会的責任目標の発達と学級適応との関連

—学年差に注目した検討— 安田 祥子

テーマリサーチゼミナール

『日経 WOMAN』創刊号から見る女性のライフス

タイトルの変化

―『Hanako』、『クロワッサン』と共に 西村 緑

昭和野球マンガのヒーロー像

―『巨人の星』と『タッチ』を通して― 中村 武史

バブル期前後における旅行の変化

―雑誌『旅』から見る― 山口 美帆

生活環境と遊びの変化がもたらす子どもへの影響

南 健一

電子メディアの登場による音楽をめぐる環境の変化

安部 千尋

洋服における流行の変遷と社会背景

石田 浩基

「韓流」がもたらす日本の未来

高原紗耶加

百鬼夜行絵巻に見られる日本人の精神性

山本 真未

語彙を重点とする英語リーディング指導の重要性

渡部 宏樹

と提案

中川満菜香

魅力的な宣伝方法とは―

他者との関係性における自我の獲得

立岩 恒平

―『妄想代理人』を通して―

特攻隊の「生」を考える

森永真由美

アンドロイドは心を持つか。

熊野 裕太

アンドロイドの行動原理と人の認識

安部公房『箱男』における境界について

打方健太郎

説得的言論の構造について

浦田 竜生

ギャルを通して考える

女性と社会とのつながり

草食系男子という生き方

―男らしさに縛られない男子―

「自分・言葉・他者」の相関関係

―ポール・オースターのニューヨーク三部作を通して―

人間の境界線…アンドリュウはいかにして人間になるのか

高畑 佑加

個人の生の在り方を考える

原田 樹輝

―『バイセンテニアル・マン』を通して

―「新世紀エヴァンゲリオン」と「カンディード」の比較を通して―

石橋 翔

動物園と動物たちの幸せな暮らし

野球とベースボール

意味の人間学

―V・E・フランクルに学ぶ―

柔道とは

『エミール』から考える現代の教育

バントワリング普及のための考察

死に向き合う

―善く生き、善く死ぬために―

テニスと日本人

化粧の身体論的解釈

―男女差を巡って―

キルケゴールの実存思想にみる自己存在の根本問

題について

生の人間学

五六

龍吐水と消化法の研究

介助者からみた車椅子機能

鉛筆と学校教育

思考力・言語力を育む地理授業の実践『都市化と都市問題』

商品としての和傘

銀秤の研究

東日本大震災から考察するアイロン普及の条件

日本の伝統工芸若狭塗箸

三国志におけるサブカルチャー比較

正史三国志、三国志平話、三国志演義からみる「離間の計」

三国志演義における西南夷と南中地方の描写について

中国古典小説における人物の容貌についての考察

―『三国志演義』における関羽・周倉を中心に―

『三国志演義』における左慈

周瑜の人物像比較

―史実をもとに―

武侯祠と柏の関係

山越の孫呉政権との関わり

諸葛亮の人物像の変遷について

「赤壁の戦い物語」における周瑜と諸葛亮

龍吐水と消化法の研究

介助者からみた車椅子機能

鉛筆と学校教育

思考力・言語力を育む地理授業の実践『都市化と都市問題』

商品としての和傘

銀秤の研究

東日本大震災から考察するアイロン普及の条件

日本の伝統工芸若狭塗箸

三国志におけるサブカルチャー比較

正史三国志、三国志平話、三国志演義からみる「離間の計」

三国志演義における西南夷と南中地方の描写について

土岐百合子

大槻 美香

藤畑 浩輝

杉本 龍一

澤井 元太

森 達朗

山本 紘司

藤井健太郎

金井 良介

池内 早輝

宇佐美伸也

奥野 昂人

末田 隼也

田久保悠希

田名 駿一

細川可奈子

山本 学志

廣田 翠

「奸雄」曹操はなぜ日本で人気が高いのか

—日本における『三國演義』の受容の変遷をもとに—

時本 将弥

キリスト教グノーシス主義の成立と興隆

櫻田 正人

簿記の起源にみる経済発展の要因

重田 瑞穂

イタリアとムッソリーニ

大越万里彩エリーニ

キプロス問題を考える

星野 廣之

世界に広がるトルコ料理

川上 由貴

神話と祭儀から考える古代ギリシア人

竹内 梨紗

ミノア文明の滅亡と地中海世界

吉田 彩乃

イタリアファッションの現状と未来

佐藤 紫乃

ユダヤ人のアイデンティティ形成と教育の関連性

田口 奈緒

フランス人のワイン観の変化

大塚 拓也

伝統工芸品琉球紅型とそれを守る職人たちの想い

藤居 史織

沖縄のサンゴ礁と開発問題

山崎 好

沖縄の食文化

山崎 好

—長寿の島に学ぶ健康的な食とそれを脅かす欧米食の影響—

林田 希美

基地が起こす沖縄の土地問題を考える

小島 未緒

—軍用地の歴史と問題点—

佐々木典子

アジア太平洋戦争・沖縄戦の実態について

植民地朝鮮における日本の新宗教

—I・T社会の光と影—

的野 葵

沖縄遊郭「辻」に見る沖縄の光と影

平原 美穂

沖縄の生活風水

本田 俊之

沖縄の婚礼

安宅 二美

沖縄の開発と発展

—持続可能な発展と自立型経済へ向けて—

坂本 崇明

沖縄の観光経済学

藤田 真弘

—都市地理学及び経済地理学からの展望—

沖縄の酒と儀礼

生内 良斉

魔除けから見た沖縄の人々の生活

池田 彩

—沖縄「魔除け」文化の意味とその背景—

沖縄の墓の変容から見える人々の死生観の変化

佐藤 愛子

沖縄における平和教育の現状と課題

佐藤 紫帆

沖縄への修学旅行における平和教育について

鈴木 宏野

泡盛の伝統文化

細沢 綾花

—泡盛と人々の生活文化との関係性—

那覇の家庭料理は長寿食か

堀 有里佳

—フィールドワークから学ぶ沖縄の食文化—

21世紀の沖縄農業

前川ひろ子

—現状から農業の将来性を探る—

沖縄芸能 エイサー

佐々真生子

—秘められた想い・受け継がれるモノ—

沖縄の方言はなぜ保たれ続けているのか

大矢 真央

—韓国社会とインターネット—

清瀬 静香

—天理教の布教活動を中心に—

「ナムムの家」の実態

西井 千佳

—ハルモニが伝える「慰安婦」問題とは—

Music is your teacher!!

長谷奈央子

暴君、燕山君の評価

—韓流コンテンツの分析を中心に—

西本万智子

韓国における高校平準化政策

板垣 翔子

—教育機会の平等が与える影響—

韓国における徴兵制

諏訪 瑛子

—徴兵制の問題点と「補償のない義務」—

楊州別山台ノリの発展

白 伸暉

—朝鮮時代の社会制度を中心に—

軍隊における性暴力と家長長制

堀江 美帆

—日本軍「慰安婦」の現在性を問う—

巨済島捕虜収容所事件の真相

村田 美鶴

—捕虜送還問題に隠された政府機関の企図—

日韓条約と在日コリアン

松尾 祐衣

—冷戦下アメリカの世界戦略と関連して—

学生による学生のための言語学

篠塚 智貴

学生による学生のための言語学

湯浅 夏基

Music is your teacher!!

今村 美緒

『認知言語学原理』解説

大川 順也

『認知言語学原理』解説

平山雄一朗

Music is your teacher!!

松岡 依里

歌詞の計量比較・インターネット上と世間一般でのヒット曲の差異

学生による学生のための言語学

石川翔太郎

学生による学生のための言語学

岩下 由季

学生による学生のための言語学

大築 葉生

Music is your teacher!!

北尾 祐樹

学生による学生のための言語学

田内 利奈

Music is your teacher!!

Music is your teacher!!
学生による学生のための言語学
音声学でボーカルボイストレーニング
学生による学生のための言語学

Music is your teacher!!

『認知言語学原理』解説
英訳『源氏物語』の比較研究

貞観五年神泉苑御霊会についての一考察
平安文学における装束の色と人物描写

現代における恵方巻きへの意識
足利義持の禁酒政策とその影響

京都らしさの一考察
—花街を中心に—

お迎え提灯から見えるもの
「国技」大相撲のこれから

「八百長問題」から考える
平安時代におけるいけばなの精神

—『源氏物語』の贈答の折り枝を中心に—
日常的に着物を着用する人々の着物に対する意識

御蔭祭の本質を探る復興後の祭儀における見解
の変化より

京都の風景を使ったトリックアート
エイムズの部屋の錯視に及ぼす床のテクスチャの

効果
生け花にみる京都らしさの考察

廣田 千尋

福元 達也

山本 文子

出雲 裕子

加藤 理沙

木山 陽介

梓山 友衣

石川佳世子

原田 みほ

木村 優希

川村 裕太

木戸 彩

香田かをり

芹澤 良真

由元 亜衣

加藤 友梨

丸橋 梨那

西村 綾乃

河村 知真

山本 記子

小学生が一番おもしろいと感じる錯視の研究

コピーアンドペーストで作る顔のさかさ絵

木島神社パンフレット

—その由緒と三柱鳥居を識る—

京町家の質感における心理的効果

京都の新しい歩き方

—京都市内のトリックアート集—

食の彩

—京都の食べ物における色の研究—

京都三条通りにおける西洋近代建築の空間利用と

その意義

天龍寺に潜む錯覚

—新発見と模型による再現—

京都の限定商品におけるカラーマーケティング

京都駅ビルにおける風景錯視

食べ物における錯視デザインの研究

だまし絵における視覚的変容

歌川国芳のだまし絵と天保の改革

“Nipple Eyes”

—ルネ・マグリットの Le Viol 考—

「京都」から生み出す錯視アート制作

北山・上賀茂界隈における地域アイデンティティ

と景観の比較研究

さかさ言葉のさかさ絵

—その実践と展開—

岡本 淑

河野 愛

岸 杏奈

小林 美甫

作道 潤也

鈴木 翔子

高岡あやの

田中 芳実

徳田 葵

原 由香理

原田 佳奈

真鍋 美貴

山根麻里奈

山本 亜季

吉永 晴華

四辻 愛純

山崎 朋美

京都の借景庭園写真集

京都の道でつくる長錯視

上り勾配のカーブが引き起こす不思議

公立学校における環境教育の実践

—ある私立高校の実体験を例として—

中国柔道の普及と発展

日中のトイレの変遷の比較とそれに伴う両国民の

意識の傾向

K-POPと中国・日本

異界に「真情」を吹き込む中国思想

—中国漫画『誰も知らない』からみた現

代中国—

日本の服飾文化の影響を受ける中国の女性たち

現代中国の結婚事情

中国映画史からみる中国人のニーズの変容

書道芸術と文字改革

少林寺拳法の開祖の教えと今後のゆくえ

中国東北方周辺地域における歴史認識紛争と中

国の北東アジア政策

現代の中国野球というスポーツの現状

—発展とこれからの展望—

中国人訪日観光客の今

—個人旅行解禁からeCoを経えて—

中国の伝統的切り絵「剪纸」について

岩本 将太

谷原 両

村松亜夢斗

横尾わかば

雨宮 真由

太田 春香

難波 志帆

台湾における「親日」感情の歴史の変遷と現在

—日本統治世代と「哈日族」を中心として—

篠田 彩

中国スウェットショップにみる労働、人権問題

—児童労働に焦点をあてて—

森 晴香

創作作品の受容における、歴史認識教育の必要性

—児童労働に焦点をあてて—

玉井 一樹

諸葛亮の大論陣について

『坂の上の雲』から学ぶ現代の日本人のあり方

大津 裕史

日本人にとっての正装の変遷

—和装から洋装へ—

青山 航

一九四〇年代アメリカ映画における敵の描き方を

通してみるアメリカ

梅田 早織

第二次世界大戦下の英軍捕虜処遇問題の解決に向

けて

小林 希帆

—映画「戦場にかける橋」の虚構を明らかにする—

龍安寺石庭と京都の寺社庭園の比較に関する考察

小林 亮太

メディアに隠されたジェンダー

—主人公以外の設定に注目して—

富澤 友佑

寛容と共存の歴史

—中世スペイン—

豊崎 真希

—日米ホラー映画の比較

村田 友希

職業婦人とニューウーマン

—人形から見る日米の女たち—

田邊 景子

明治期の日本人に対する外国の見方

—ビゴー、ロチ、ワグマンの作品を通して—

山田 望美

アメリカ学園映画から見る若者の階級文化

—日本版「リング」と米国版「The Ring」に見ら

れる家族観

ヘヴィ・メタルの日本における受容と変化

—シーンエピソードと捕鯨—

越田 裕喜

宣教師作家F・C・マコーレー

—小説「蝶々夫人」—

松井 大樹

エコテロリズム

—J.L. Longの描く理想の日本人像—

宇治野美穂

—アメリカ人が見た芸者文化

—小学校英語教育に関する考察

加地 晃子

—B C級戦犯の戦後

—日系人部隊に見られる忠誠心・愛国心

波多江彩子

—「武士道」と「オタク」

—映像作品に見られる日本人像の変遷—

藤原 尊徳

—お化けとGhost

—森橋直樹

石田いづみ

—白谷和加奈

—田中健太

川崎 佑二

—輝けるホームドラマ

—ライフスタイル日米比較—

産児制限と女の自立

—M・サンガーと加藤シヅエ—

混血児と母親たち

—戦後沖縄の人権問題—

「日本」と「アメリカ」二つの国に揺れるアイデ

—Nテイティ

ecotourism in Ecuador

ecotourism in Mikura

ecotourism in Kyoto

『ステラ・ダラス』

—日本の「母もの」映画の原点—

渡邊 美穂

テレビアニメ『The Simpsons』に見る俳句と禪と

—産児制限と女の自立—

西森 文香

輝けるホームドラマ

—ライフスタイル日米比較—

井上 紗希

産児制限と女の自立

—M・サンガーと加藤シヅエ—

竹脇 友子

混血児と母親たち

—戦後沖縄の人権問題—

西沢 望

「日本」と「アメリカ」二つの国に揺れるアイデ

—Nテイティ

西村英里子

ecotourism in Ecuador

ecotourism in Mikura

ecotourism in Kyoto

Tourism, Environment and Community in the

Nepal, Himalaya

Eco Tourism in Mexico

Tourism in New Zealand

How is poverty reduced by tourism in a

developing country?

Tourism and traditional culture

Ecotourism in the Island of Japan

Ecotourism and Community tourism in

Miyama

ecotourism in Australia

Eco tourism in Samoa

原子力事故の原因とその対策

日本社会における外来語

―国立国語研究所「外来語」言い換え提案」の結果をもとに―

相川千寿恵

イスラームの女性の尊厳について

―主にブルカやニカブに注目して―

笠井 美岐

チェチェン問題解決への課題

佐藤 匠

現代中国における就職氷河期

辻内 里佐

今治タオルの取り組み

門田 知子

原子力発電による核廃棄物地層処分問題

フィンランドと日本 藤岡 三起

日本とイギリスにおける比較言語文化

堀 郁世

日韓関係の変容

―国民意識の変化― 元山 絵美

多文化社会と国民国家

―ヨーロッパ・ベルギー社会を考える― 熊谷あゆみ

京都市における観光の現状及び今後の課題

浅田 真央

柳宗悦と朝鮮

中 僚子

日韓共通の歴史教科書をつくるには

―独仏歴史共通教科書を参考に― 近藤 正嗣

マオリとアボリジニの言語に関する言語政策

杉村 華有

日本人留学生のアイデンティティ

山本 千夏

多文化主義国家オーストラリアにおける政策と住

みやすい都市の実現 高田 茉由

インドネシアにおける日本語教育

田中 恵

多文化共生社会における保育の現状と展望

徳永 有佐

在日ブラジル人を取り巻く日本の教育問題

中島 梢

日本の自治体における多文化教育の実践

日本の教育をよりよくするには

―オーストラリアの教育を例にして― 井元 愛美

Child Labor in Philippines: Condition and solutions

奥山 理紗

Education in South Korea: Government and

Citizens Make a Path for Success 熊澤 満

Artong Project-Detox- 田村 修人

LI(F)E of my youth

―See-Saw― 谷出 創

Hope to Rebuild Japan: Bhutan's "Gross

National Happiness (GNH)" as Model for

Change? 手島 歩美

Impact of March 11, 2011 on Japan-China

relations 吉村 美妃

The Microfinance and Empowerment Process:

Through the BRAC Program 田中 裕二

水の湧きだすまち

HEART OF GOLD "WAHII" 富田野の子

満刺加 前田 里奈

Mamma Mia! 諸岡 瑞季

漁師町の魅力

―日本有数の漁村、焼津市を訪れて― 濱住唯一朗

まわりみち 御澤 佳世

日本人女性はなぜモテる

―またはモテると言われているか、についての一考

察 山田 千聡

沖縄文化の「今」を観る

田舎ツーリズム 田舎は「いなか」 石原 茜

Link For Thailand

―Hope By Hand― 小林 望美

坂本さんと旅に行く

大阪の近代建築 田中 琢磨

幻影 中野 優子

―光と影の楽園― 西川 正規

まちづくりと観光 福田 成華

バリの色 藤田 麻衣

オルタナティブグローバリゼーションの再考

大学生の3.11 高橋 幸佑

Ska vi filka? 松尾 志織

観光によるアイヌ文化の変遷と普及

piece フィリピンにおけるNGOのスタディーツ 仲谷 雅弘

アートフェアトレード事業の考察

多文化主義国家カナダの理念と実態 伊藤 友乃

¡Vamos a España con mis experiencias! 落合 淑美

―多様なスペイン文化に触れた旅の経験から― 北野 智香

Discover The New Britain 澤之井頌子

―examining the food culture and cities of Britain―

Allt om Sverige 篠崎 由里

杉本 翠

観光における創造され続けるねじれ 中村 南

The Problems of Us

～フィリピンからみえる私たちの世界～ 中本 有紀

小学校における国際理解教育に関する研究

―モデル授業開発を中心に― 長坂 千明

多文化主義社会の現状と日本の課題 奈良 朋子

The Real Situation of Philippine 福田 淳美

スタディーツアーから見るフィリピン 村山 奈穂

あなたの知らない韓国

～韓国人大学生の日常～ 鈴木恵理奈

織田信長顕彰にみる明治政府の宗教政策 岩城 智穂

イズミヤ白梅町店出店問題

～商店街の歩みから考える京都の「まち」～ 盛田 萌香

「京都イメージ」はどのようにつくられるのか

―『都名所図会』・『拾遺都名所図会』の分析を中心

に― 塚本 真弓

世界文化遺産は景観保護につながるか

～二条城の事例を中心に～ 金子 咲希